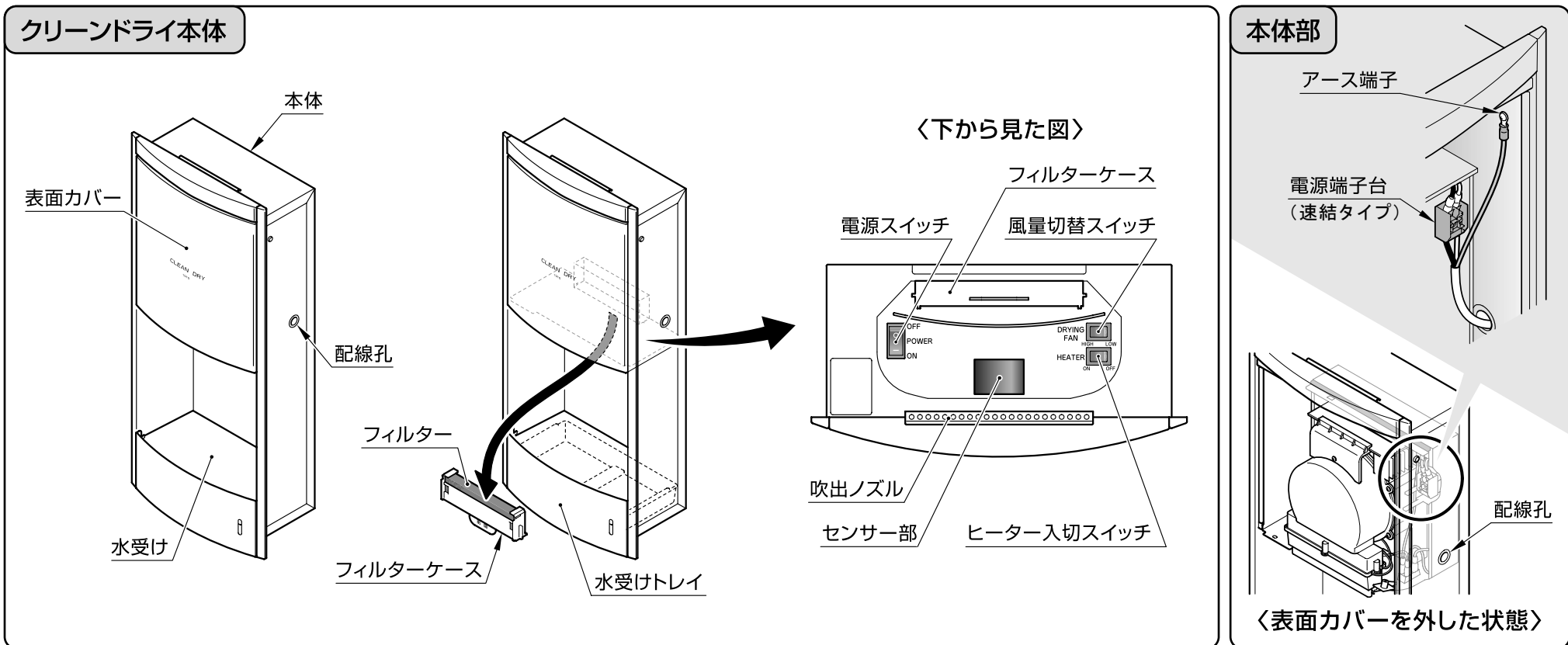
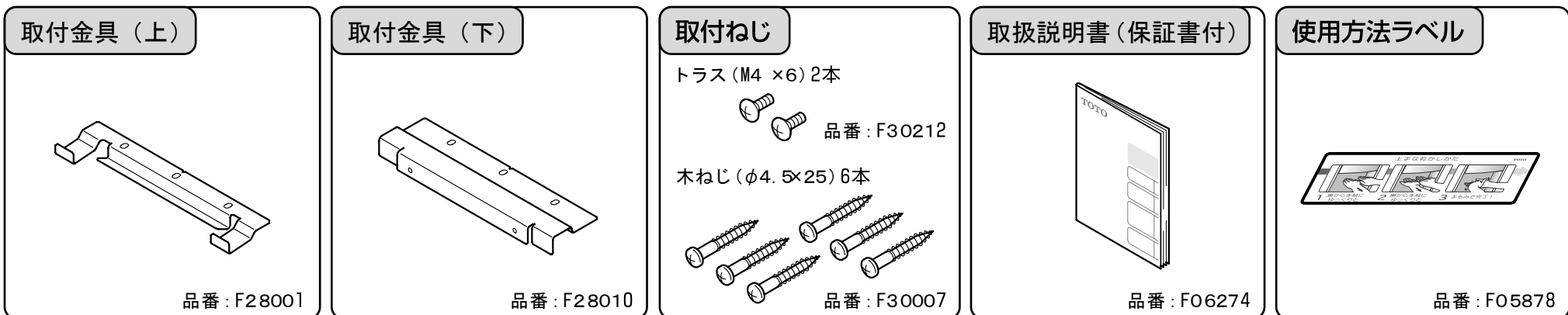


2 部品の確認及び各部のなまえ



付属品



3 施工方法

この施工方法はあくまで新設の場合を基準に作成しております。

3-1 施工前の注意

⚠ 警告

電源工事は電気工事業者に依頼し、電気設備技術基準や内線規定に従って確実に行ってください。

誤った電気工事は、感電、火災の原因となります。

電源には漏電遮断器を取付けてください。
故障や漏電の際に、感電するおそれがあります。

必ずD種接地工事を行ってください。
アース線は本体のアース端子に接続してください。
感電のおそれがあります。

■ 定格15A・AC100Vの漏電遮断機を単独で設置してください。

※ 電源は、单相100Vを印加してください。200Vを印加すると製品（基板）が故障します。

3-2 電源線の施工方法

1 スイッチボックスの埋込みと配線

- スイッチボックス（JIS C 840）を壁面に埋込み、電源線とアース線（いずれも600Vビニル絶縁電線、またはVVFケーブルφ1.6またはφ2.0の単線）を配線します。

※600Vビニル絶縁電線（より線）の場合、電源端子台（速結タイプ）への接続には、絶縁被覆付圧着端子（松下電工製WV2500/WV2501）をご使用ください。また電源のリードの長さは500mm以上とっておいてください。

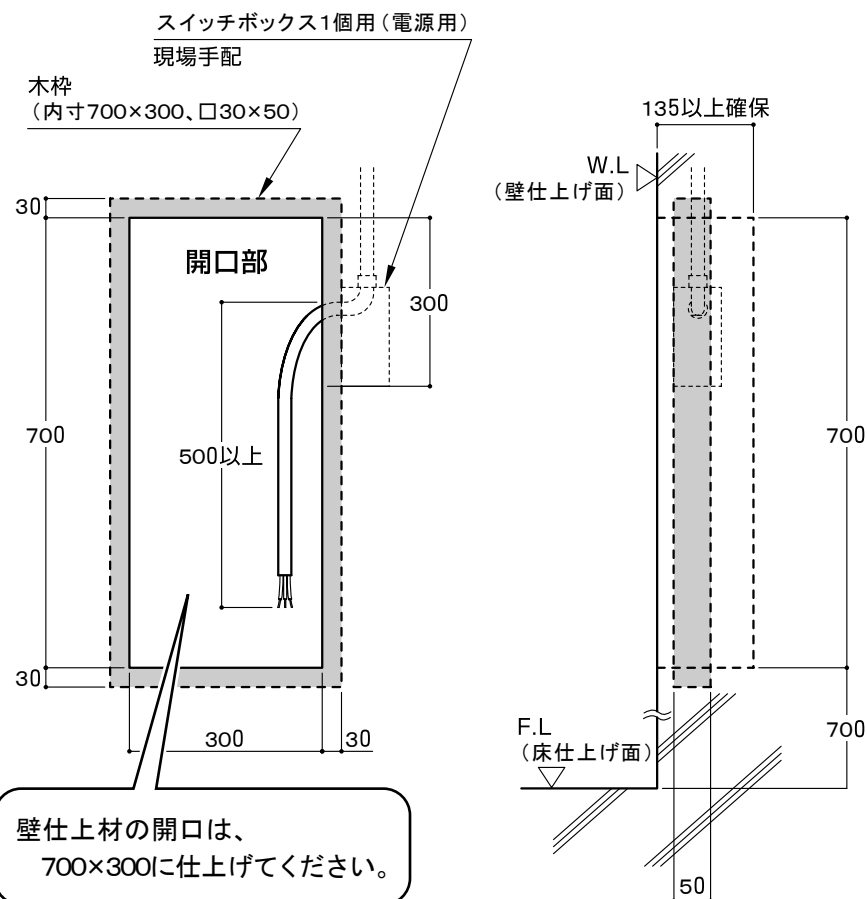
- スイッチボックスの取付位置は、「2 固定枠の位置決め」を参照してください。

2 固定枠の位置決め

⚠ 注意

既設壁へ取付けの際、□30×50の木枠使用の場合、H760×W360×D130プラスα（スイッチボックス等）の壁はつりが必要となります。

- 木枠TYC501（別売品、内寸700×300、□30×50以上）を壁の下図の位置に固定します。



※奥方向へは埋込代を135以上確保ください。